

WatchGuard End-of-Lifeポリシー

はじめに

セキュリティ環境は常に変化しています。そのためセキュリティ製品も様々な要因によってライフサイクルの終了をむかえます。

WatchGuardでは変化する環境に対し、製品やコンポーネントを継続して稼働させるために開発サイクルを管理し、それに応じて製品の販売終了・サポート終了を決定し、それらはライフサイクル全体のプロセスの1つとして確立されています。

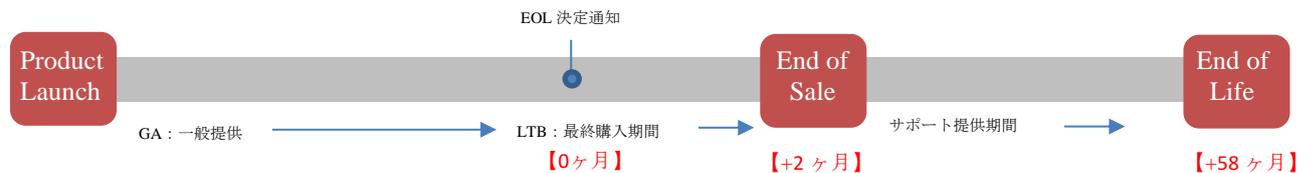
ここでは製品ライフサイクル内の販売終了・サポート終了の位置づけや、そのプロセスについてご説明します。

製品ライフサイクルステージと定義

全てのWatchGuard製品とサービスは販売終了日（以下EOS）とサポート終了(以下EOL)までの期間を考慮しています。

製品EOSは最大でEOLの5年前とし、全てのEOLアナウンスは製品の販売終了の少なくとも60日前に公式にアナウンスされます。

以下のイメージはEOLまでの期間の段階について説明しています。



◆EOS

EOSとなった時点で製品は購入することができません、ただしWatchGuardはサポートポリシーに準じてサポートは提供していきます。

◆EOL

EOLとなった時点WatchGuardサポートも提供を終了します。製品がEOLに分類されると、新たな開発(バグフィックス)、修理、交換対応及びサポートを受けることはできません。ホームページからのオンラインドキュメントのダウンロードは引き続き可能です。

以下のテーブルでは異なるライフサイクルステージと各段階で顧客やパートナーが期待するサポートの内容を表示しています。

	新規販売	既存顧客への販売	更新ライセンス販売	RMAサポート	バグフィックス	サポートへの連絡	セキュリティアップデート	新機能の開発
販売期間中	○	○	○	○	○	○	○	○
LTB	○	○	○	○	○	○	○	△
EOS	×	×	○	○	○	○	○	△
EOL	×	×	×	×	×	×	×	×

サポート終了までの流れ

- ・サポート契約終了：すべてのサポート契約はEOLをもって終了とし、基本的にはEOSの5年後とします。
EOLの最後の年にライセンスを更新する場合は、年間単位で更新ライセンスの購入はできますがEOL以降に延長することはありません。
- ・日割りサービス期限：1年更新のサポートSKUとセキュリティサービスは最後の年まで残りませんが、EOLを超えるサービスの延長はできません
日割り計算もEOLの最後の年はこれらのサービス提供をすることは不可となります。
- ・ソフトウェアサポートの終了：WatchGuardはサポート終了までの間、当社の判断によりバグ修正や脆弱性に対応したソフトウェアパッチ又はアップデートの提供し、これらのサービスは有効なサポート契約を締結しているお客様にのみ提供されます。
- ・シグニチャサービスとアップデート：WatchGuardは最新のソフトウェアがリリース後12か月間はシグニチャのアップデートを提供します。
また、製品の後継機については当社のウェブサイトの” Migration Path”にてご案内をしております。<http://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/end-of-life-policy>
- ・これらのガイドラインは例外として市場動向や顧客の要件、部品の在庫状況などによりプロダクトマネジメントによって変更されることもあります。

販売終了までの流れ

- ・EOSの決定：WatchGuardは製品又はサービスの実際の販売終了日の60日前から販売代理店への告知をします。EOSについての案内には販売終了日、サポート終了日、販売終了までの期間に関する情報を掲載しています。
(現時点では後継機種について提案しています。)
- ・EOLの告知：WatchGuardはエンドユーザーへの直接の告知は行いませんが、すべてのEOL情報は公式ウェブサイトを確認することができます。
<http://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/end-of-life-policy>
- ・WatchGuardはいくつかの製品については、LTBとEOSの期間中、EOLの日程について定期的なリマインダーを提供します。これらの通知はWatchguardのマーケティング又はプロダクトマネジメントの裁量により配信されます。

例外

Watchguard Wi-Fi Access Point製品においては、Wi-Fi 市場のトレンドに合わせるためにEOSからEOLまでの期間を3年間としています。